

鑛石鑛物顯微鏡鑑定表(紹介)

著者	和田 正美
雑誌名	東北大學選鑛製錬研究所彙報 = Bulletin of the Research Institute of Mineral Dressing and Metallurgy, Tohoku University
巻	8
号	1
ページ	26-26
発行年	1952-09-10
URL	http://hdl.handle.net/10097/32108

Tables for Microscopic Identification of Ore Minerals. By W. Uytendogaardt, University of Stockholm. Pp. vii, 242. Princeton University Press, Princeton, New Jersey. (\$ 5.00)

本書は實驗室に於ける鑛石鑛物の反射光による檢鏡に使用される鑑定表であつて、1950 年迄の鑛石鑛物の記載が含まれている。

本書の特色は研磨面に於ける鑛石鑛物の鑑定基準として物理的性質、特に識別の容易な研磨硬度を強調している點にある。腐蝕反應は二次的な鑑定手段として挙げられている。

研磨硬度は研磨面に於ける各種鑛物の凹凸によつて判定することが出来る。表中の鑛物は方鉛鑛、黃銅鑛、或は黃鐵鑛と比較した硬度によつて類別されている。之等の三鑛物は多くの鑛石中に共生し、且容易に認めることが出来るので標準として選ばれたものである。

各鑛物の記載は鑛物名、化學式、結晶型、Talmage 硬度、反射度、色、腐蝕試験、其他（内部反射、双晶、劈開、共生關係、共存鑛物、其他の特徴）の順序に配列されている。反射度を測定するには光度計を必要とするが、鑛物相互の差違の方が絶対値そのものよりも重要であるから、日常の鑑定には定性的の判斷で充分である。色は油浸の下で見た場合のものが挙げられている。

上記の主な表の外に研磨硬度及び反射度の順序に鑛物を配列した二つの一覽表及び蛇足的な鑛石鑛物名とその使用を避ける可き理由の説明を附した目録がある。文献目録は表中に引用された過去 20 年間の鑛石鑛物學に關する文献 441 篇を收録している。

本書は昨年渡米中同行の東京大學工學部鑛山學教室の今井秀喜助教授の御好意により Princeton 大學より入手したもので、茲に記して深謝の意を表する。

(和 田)